長洲町立長洲小学校　校長便り　№25

みんなの居場所

裏面の話題

みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。

令和4年7月15日(金)

話題提供「子供は大人を見ている」

数年前、新聞の教育コーナーに、「子供は大人を見ている」というタイトルで、天草市の中学校の先生からの投稿が掲載されていました。その中で印象に残ったところを紹介します。団らんの中での話題にして頂けるなら幸いです。次の文章です。

「子供は、好奇心旺盛だ。その目線は大人にも向けられ、大人が楽しいと思うことは真似をする。今も昔も子供の本質は変わらないと思う。」

私たち大人（保護者）がやっていることを、子供は真似るということですね。ということは、良きにつけ悪しきにつけ、大人の行動が影響するということです。更に、『家庭では誰と話すの?』『人間関係のトラブルで悩んでいる子供に家庭の様子を尋ねてみる。すると、『誰とも話さない。』との答えが淡々と返ってくることがある。親や兄弟がいても、それぞれがスマートフォンやパソコンの画面を見つめ、インターネットやSNSに夢中なのだという。・・・（中略）・・・孤立し、自分の世界観だけに価値を見いだす子供達がいる。私たち教師はもちろん、親として大人として、子供達と共にする時間をどう過ごし、子供達に何を与えてどんな体験をさせなければならないのか、自らに問いかけたい。そうすれば、子供に向けるまなざしが強く、温かいものに変わっていくはずだ。」

そう言えば数年前、天草でのお盆の宴席で親戚たちが問いかけてきました。「小学校や中学校ではスマホを持つことを許可しているの?」学校としては許可していないことを告げ、その効用と落とし穴について話し、更に、この話をするとドキッとされていました。「スマホでもPCでもゲームでも、親がのめり込むと子もものめり込む、しかも悪いのめり込み方をすることが多い。ゲームは親に隠れて夜中にゲームをすることもあるよ。そしてPCならともかく、スマホは大人が知らない使い方を子供は知っているからね。ある日突然悪いことが起こるかもしれんよ…!?」携帯やスマホ、PCについて、ご家庭ではどのような環境にありますか。

「アインシュタイン」の言葉～成功のための理論～

If A equals success,
then the formula is: A＝X＋Y＋Z,
X is work.　Y is play.
Z is keep your mouth shut.

これはドイツ出身の理論物理学者、アインシュタインの言葉です。アインシュタインと言えば有名なのは相対性理論ですね。有名なこの理論を世に送り出した博士の言葉には説得力があります。原文そのままですので、日本語に訳してみましょう。次の通りです。

「A＝成功 であるとすると、
A＝X＋Y＋Z の公式が成り立つ。
X は仕事、Y は遊び、
Z は無駄口を利かぬこと。」

私は納得してしまいました。そして、笑ってしまいました。色々なことに当てはまるなぁ、この理論はと。例えばAが「教師としての成功」とすると、XYZの項目に色々な言葉が浮かんできます。また、Aを「夢の実現」としてみましょう。するとX＝学問、Y＝運動と適度な息抜き、Z＝集中する、とでもなるのでしょうか。更に、A＝「楽しい人生」とすると…。色々な言葉が浮かんできて、楽しくなってきます。

シリーズ「自分を語る」#25

私が大学を卒業したのは平成元年3月の事です。卒業後の10日ほどは、ボーっとして過ごしました。臨採の希望を出していたので、それがあるかどうかが気になって仕方がない時期でもありました。

4月1日、当時は煙草も吸っていて、何気なく煙草を取り出し、火を点けようとしましたが、ライターがありませんでした。コンビニに寄って百円玉を出すと、「あと3円お願いします。」と言われ、面食らったことを思い出します。そうです、平成元年度スタートの日は、消費税導入の日でした。

平成元年度スタートは私にとっては、本当にほろ苦いものでした。これから1年間、また親に世話になるのかと、情けなさに押し潰されそうでした。両親は気を遣って、「ビール飲むか?」とか、「お金は持っとるね?」と言ってくれました。それが逆に自分の情けなさを助長するようで、苦しかったのを覚えています。中々ありがとうと素直に言えませんでしたが、お金を無言で貰って、映画を数本観に行ったことを覚えています。映画のタイトルは忘れてしまいましたが…。

4月5日、念願の知らせが来ました。熊本市教育委員会からの臨採決定の通知です。「至急、写真を持って教育委員会に出頭してください。」とのことでした。何が何だか分からないまま、写真を撮って委員会に行きました。そこで告げられたのは、熊本市立龍田小学校への勤務でした。嬉しさで卒倒しそうでした。

次の日、早速龍田小学校へ挨拶に向かいました。校長先生から「5年生の担任をお願いします。」と言われ、いきなり担任?と驚きましたが、それでも嬉しかったことを思い出します。あの時、先生と言われることに妙な満足感を感じたことを覚えています。

ここから夏までは、毎日の業務と採用試験の準備一色でした。と言いますか、他の先生方や子ども達、保護者の方々が気を遣ってくれました。そこで私は、初任給で通信教育の教員採用試験合格講座を受講することにして、受験勉強もかなりできました。また、家にもお金を入れるようにしました。でも、残りの給料は貯金も何もせず、只、遣いっぱなしでしたね。悪いものには遣っていないと思うのですが…。

この時期は、自分でもよく勉強したと思います。1日3時間はどんなに眠くても、いや眠っていてもテキストを見るようにしていました。ただ机に座っているだけという日もありました。

私は理系の学習が苦手で、数学や物理は苦労しました。でも勉強で一番苦労したのはピアノでしたね。左右の指を別々に動かすこと等無かったですから、腕の筋肉が釣ることもしばしばで、とにかく大変でした。学生時代は単位を取るためにバイエル教則本を使って、60番まで弾きましたが、1度目の採用試験ではその学びは全く活かされず、当日は滅茶苦茶でした。とうとう楽譜は読めず、教師生活に入っても音楽の授業は酷いものでしたね。楽器が弾ける人、楽譜が読める人には憧れます。

（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）